

院政のはじまり

11世紀中ごろ、藤原氏と血縁関係がうすい後三条天皇が即位し、その後、子の白河天皇が即位した。

白河天皇は天皇を引退し 上皇 となったあとも政治を続けた。その政治を **院政** という。

(上皇とは? ... 天皇の位を退いた人のこと)



1156年、天皇家内部で次のトップ争いが起こる。

後白河天皇

VS

崇徳上皇

(勝)

平清盛
源義朝

(負)

保元の乱 という。

1159年、

平清盛

VS

源義朝

(勝)

平治の乱 という。

(負)

1167年、平清盛は武士として初めて **太政大臣** の位につく。藤原氏のように自分の娘を天皇の妃にした。主に西日本の武士を従え、神戸市の港を整備して **日宋貿易** を行った。(大輪田泊)